

# ソーラーパネル表面温度トランスミッタ



## ■ テクニカルデータ

プローブ動作温度	-40～+85℃
プローブ感温部サイズ	φ30×7.5mm
プローブ感温部材質	アルミ(粘着式)
精度	±0.3℃
再現性	0.05℃
標準アナログ出力	HD4807TFP, HD4907TFP: 4～20mA=-40～+85℃ HD48V07TFP: DC0～10V=-40～+85℃
電子回路部動作温度	-20～+60℃
供給電圧	DC18～40VまたはAC24V: HD48(V)07TFP DC12～30V: HD48S07TFP DC12～40V: HD4907TFP
消費電力	4mA, 24Vにて(電圧出力モデル) 4mA, オープンコレクタ出力24Vにて/20mA, 12mA出力 24Vにて(電流出力モデル) 2mA, 24Vにて(RS485シリアル出力モデル)
電氣的接続	ネジ式端子台, 最大1.5mm <sup>2</sup> , 入力ケーブル用M16ケーブルグランド
材質	ABS, ポリカーボネート
ハウジング寸法	80×84×44
重量	約900g(ケーブルとプローブ含む)

## ■ ご注文コード

HD48□07TFP.	記号なし = ディスプレイなし L = LCDディスプレイ付
	5 = 1/3DIN Pt100センサー付5mケーブル 10 = 1/3DIN Pt100センサー付10mケーブル
	記号なし = DC4～20mAアナログ出力 V = DC0～10Vアナログ出力 S = RS485 Modbus-RTU出力のみ

HD4907TFP.	記号なし = ディスプレイなし L = LCDディスプレイ付
	5 = 1/3DIN Pt100センサー付5mケーブル 10 = 1/3DIN Pt100センサー付10mケーブル

CP27	USB/RS232Cコンバータ内蔵シリアル接続用ケーブル(PC接続用USBコネクタ:トランスミッタCOM-AUXポート接続用3極コネクタ), トランスミッタとPCのUSBポートの直接接続用, アナログ出力機種のみで使用可。
RS48	USB/RS485コンバータ内蔵シリアル接続用ケーブル(PC接続用USBコネクタ:トランスミッタCOM-AUXポート接続用3極コネクタ), RS485出力機種にのみ使用可。
HD4817CAL	トランスミッタ設定用ソフトウェア(Windows OS)。ウェブサイトから無償ダウンロード可能。

- DC4～20mA出力 **HD4807TFP.□**
- DC0～10V出力 **HD48V07TFP.□**
- RS485 Modbus-RTU出力 **HD48S07TFP.□**
- 2線式DC4～20mA出力 **HD4907TFP.□**

- ▶ 高精度Pt100センサパネル表面温度センサ
- ▶ 豊富な出力オプション: DC4～20mA, 0～10V, RS485
- ▶ 全機種ディスプレイ表示可(オプション), ケーブル長5/10m

HD48□07TFPおよびHD4907TFPシリーズは、ソーラーパネル表面温度センサと一体の温度トランスミッタです。温度センサには高精度のPt100センサを採用しており、標準ケーブル長は5mまたは10mです(ご指定により他のケーブル長も製作可)。

HD48□07TFPシリーズはアナログ出力DC4～20mA, DC0～10VまたはRS485 Modbus-RTUの何れかの出力が選択できます。HD4907TFPシリーズはパッシブタイプで、2線式DC4～20mAアナログ信号を出力します。

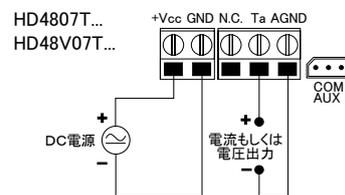
アナログ出力機種はリモートディスプレイや記録計、PLCに適した信号を供給し、RS485出力機種のデジタル信号はPCやPLCとの接続に適しています。

全ての機種がディスプレイ付(オプション"LD")で供給できます。表面温度プローブの動作温度範囲は-40～+85℃、本体回路部の動作温度は-20～+60℃です。供給電源はHD48□07TFPシリーズはアナログ出力機種がDC18～40V(またはAC24V)、Modbus-RTU出力機種はDC12～30Vで、HD4907TFPシリーズはDC12～40Vです。

## ■ 電氣的接続

### ● HD48□07TFPシリーズアナログ出力(DC4～20mA, DC0～10V)

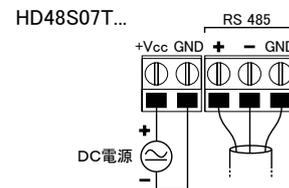
下の図に従って接続を行い、電源を供給してください。電源供給端子は+VccとGNDで表示されています。HD4807TFPおよびHD48V07TFPの機種の出力信号端子はTaとAGNDで表示されています。



### ● HD48S07TFPシリーズRS485出力

下の図に従って接続を行い、電源を供給してください。電源供給端子は+VccとGNDで表示されています。

RS485出力では、同じネットワークに複数のトランスミッタが接続できます。トランスミッタはシールド付ツイストペアケーブルを使用して順に接続してください。



### ● HD4907TFPアナログ出力(4～20mA, 2線ループ)

下の図に従って接続を行ってください。4～20mA出力に接続可能な最大負荷抵抗は印加される電源電圧により、以下の計算式から求められます。

$$R_{Lmax} = (V_{cc} - 12) / 0.022 \quad \text{例: 電圧がDC24Vの場合, 最大負荷は } R_{Lmax} = 545\Omega$$

